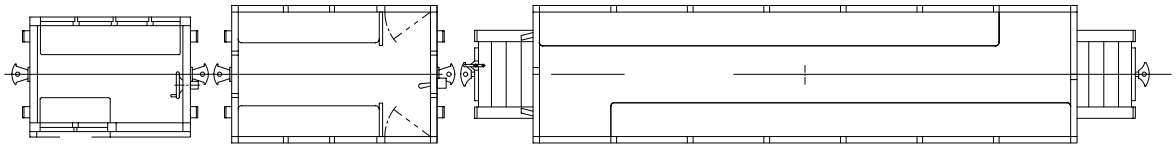
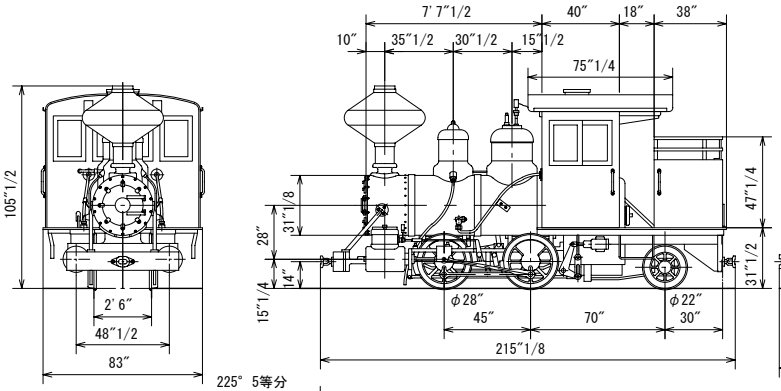
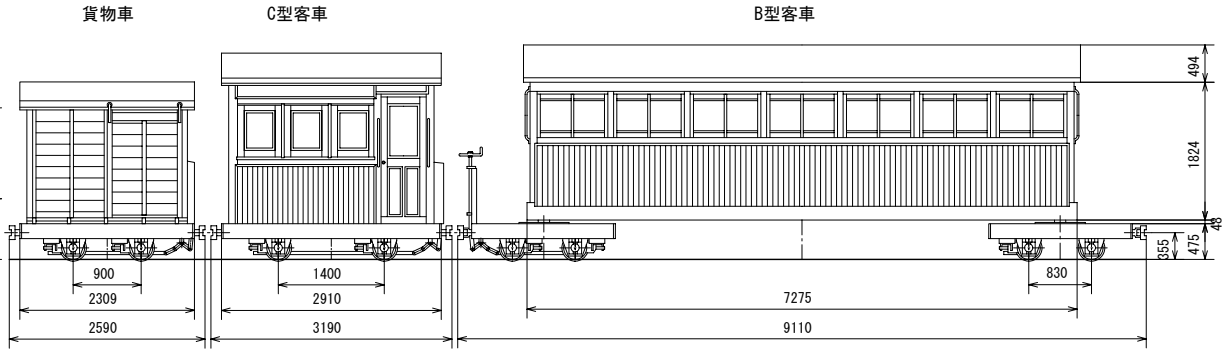
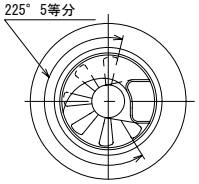
木曽森林鉄道の車輌

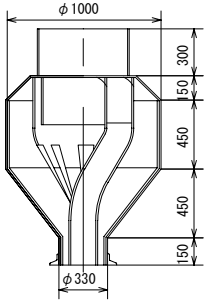
762mm軌間

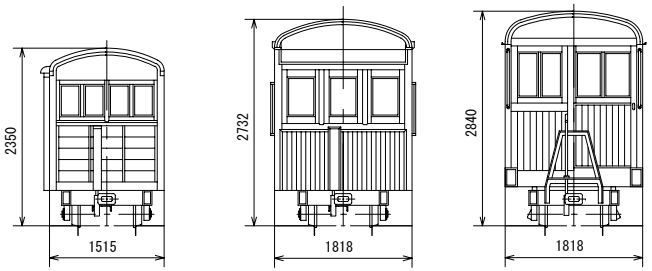




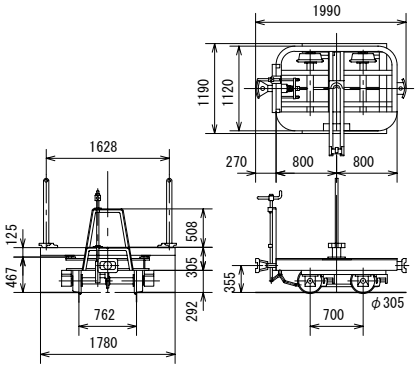








鉄製運材台車



木曽の山深く、原始林を縫って材木を輸送する762mm軌間の軽便鉄道は、
俗に木曽森林鉄道と呼ばれ、多くのファンに親しまれた
しかし、年と共にこの小鉄道も変貌し、長い間木曽森林の主として
働いてきた特徴あるボルドウイン製のタンクロコは1960年に全滅してしまった
図はそのロコの初期の姿と、客車、貨物車たち
煙突以外の図面は法政大学工学部鉄道趣味の会調整の原図をトレースしたもの